

地 学
と
切 手



スイス 寄付金 つき切手の化石 鉱物 シリーズ

P. Q.

スイスでは毎年の冬と夏に寄付金付切手が発行されている。冬期のは1913年から 夏期のは1938年から続いているもので これらの2つのシリーズは もっとも長期間にわたって発行されるシリーズとして評判が高く 美しいスイスの自然や風物をデザインしたもので 国際的にも切手収集家によって愛好されている。寄付金は そのたびに児童福祉とか母子家庭援助に使用され 国防基金になることもあるが 一般に慈善切手と呼ばれる。このシリーズの1958年から1961年までの4年間は 化石と鉱物が使用された。1回は5枚1組であるが そのうちの1枚は図案である。

1961年 螢石 魚の化石 天藍石** 羊歯化石

* 二枚貝類貧歯目 Ostreidae 科の一属 ジュラ紀—第三紀。中生代に多い。

** Lazulite $(Mg, Fe^{+2})Al_2(PO_4)_2(OH)_2$ 。単斜晶系 硬度 5.5~6 比重 3.1~3.4 ガラス光沢らん青色 透明~半透明 多色性顕著 X=無色 Y=Z=らん青色 高アルミナ含有の高度変成岩中およびその中の石英脈 花崗岩 ペグマタイト中に産出。

(平凡社 地学辞典による)

1958年 螢石 アンモナイト ザクロ石 水晶
1959年 瑪瑙 電気石 紫水晶 山椒魚化石
1960年 煙水晶 正長石 Gryphaea*の化石
藍銅鉱

名称はドイツ語の Iazurstein (青色の石) に由来する